

「学校に関するアンケート」結果報告

12月に行った「学校に関するアンケート」に御協力いただき、ありがとうございました。集計結果は以下のようになりました。いただいた評価および自由記述からの御意見を参考に、来年度の教育活動に生かしていきたいと思っております。

【児童】（4. そう思う 3. だいたいそう思う 2. あまりそう思わない 1. そう思わない 0. 分からない）

4点満点中の平均点を100%として算出

知	自分なりにめあてをもち、進んで学習や活動に取り組んでいる。	81%
	自分の意見や考えを、学習や活動で進んで伝えている。	79%
	学習や活動で、人の話をしっかりと聞いている。	85%
	家で、毎日進んで宿題や学習することができている。	86%
徳	進んであいさつすることができる。	83%
	正しいことや役に立つことに進んで取り組んでいる。	80%
	思いやりをもって相手と話し、友達と仲良くすることができる。	89%
	友達の良さを感じながら、気持ちのよいじゅうじつした生活を毎日送っている。	86%
体	自分の体力を高めようと、運動のめあてをもって取り組んでいる。	83%
	放課後や休日に、外遊びや運動をして楽しんでいる。	81%
	交通ルールを守って登下校したり、避難訓練でしんけんに取り組んだりして、安全な生活を心がけている。	89%
	家で、健康に気をつけて毎日「はやね・はやおき・朝ごはん」をすることができている。	82%
連携・キャリア	学校は、先生や友達がいて、困ったときには相談することができる。	82%
	地域の人のお話やボランティアの方々に教えてもらうことにより、自分の活動や学習内容が分かるようになったり、できるようになったりした。	83%
	キャリア・パスポートで2学期にがんばった自分を振り返り、1学期と比べて自分が成長したと感じる。	85%
	「勇気、友情、勤労」の心を意識して、学習や活動に取り組んでいる。	83%

【保護者】

知	お子さんは、自分なりにめあてをもち、進んで学習や活動に取り組んでいると感じている。	78%
	学校の学習を通して、お子さんは自分の意見や考えを進んで伝えられるようになったと感じている。	76%
	学校の学習を通して、お子さんは自分の考えを深めるために人の話がしっかりと聞けるようになったと感じている。	76%
	お子さんは、家庭での学習習慣が定着している。	74%
徳	お子さんは、進んであいさつができる。	75%
	お子さんは、正しいことや役に立つことに進んで取り組んでいる。	79%
	お子さんは、思いやりをもって相手に接し、友達と仲良くできている。	85%
	お子さんは、友達の良さを認め合い、充実した生活を送っている。	84%
体	お子さんは、体力を高めようと自分のめあてをもって取り組んでいる。	77%
	お子さんは、運動の楽しさを味わい、放課後や休日に外遊びや運動に親しんでいる。	78%
	お子さんは、自ら健康管理に努めるとともに、安全意識(交通・防災)も育っている。	78%
	お子さんは、「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣が身に付いている。	81%
連携・キャリア	学校は、担任はじめ養護教諭やスクール・カウンセラー・スクール・ソーシャル・ワーカー等も含めて教育相談を行いやすい体制整備がなされている。	81%
	学校は、子供自身の学びを社会や将来とつなぐキャリア教育を推進するために、積極的に地域人材を募り、活用する授業を実施している。	78%
	保護者として、コミュニティ・スクールの一員となり、積極的にPTA活動に取り組んだり、授業や活動に講師やボランティア、サポーターとして参加したりして、子供たちの活動や学びのために協働している。	73%
	お子さんは、学校教育目標「つながる力を育み、よりよく生きる佐鳴の子」に近づいていると思う。	77%

全体的に見ると、児童、保護者ともに1～2ポイントの増減はあるものの、昨年度とほぼ同様の結果でした。児童の自己評価がほとんど80%を超え、高いことが分かります。特に高評価だったのは、「徳(心)」の項目です。思いやりの心で友達との関わり合い、楽しい学校生活を送っていることが分かりました。また、「体(命)」の項目も高評価でした。「交通ルールを守る、真剣に避難訓練に取り組む」ことは命に直結するため、とても大事です。本校では、避難訓練を年間5回行っています。(避難経路確認訓練、親子引き渡し訓練、火災訓練、行方不明訓練、告知なし訓練)訓練の後には振り返りをします。自分の命は自分で守ることができるよう具体的な指導もします。訓練を重ねることで、災害を身近なものとして意識できるようになってきました。突然の災害に対して落ち着いて最善策を考え、行動できるようになるといいと思います。一方、「知(学習)」の項目で、自分の考えを進んで伝えることや、「徳(心)」の項目で、正しいことや役に立つことに進んで取り組むことに課題がありました。授業中、自分なりの考えや答えがあっても、恥ずかしかったり自信がなかったりして言えないままです。学校生活においても正しいことや役に立つことが分かっているにもかかわらず、勇気を出して行動に移せない子もいるのでは

ないかと思えます。校内の階段には「良いこと見つけ」の箱があります。キャリア教育の「人とつながる力」の育成を目指した活動で、児童会が運営しています。良いことをしている友達を紙に書いて箱に入れると、昼の放送で紹介されます。自主的な善行を目指して今後も指導していきたいと思えます。

保護者の結果では、項目「思いやりをもって、仲良くできている」が昨年度より7ポイントも上がっていました。項目「充実した学校生活」も高評価で、楽しく学校に通っているということが分かります。また、項目「積極的に子供たちの活動や学びのために協働している」では、昨年度よりさらに2ポイント上昇しました。子供たちのために様々なボランティアやサポーター活動に協力の声をあげていただいていることに感謝しています。子供たちの学習の習得やふれあいを通して得るものは大きいです。もっと広がると良いと思えます。来年度のはじめにボランティアやサポーターの募集をします。無理のない範囲で気軽に応募していただけると嬉しいです。一方、項目「家庭学習の定着」や項目「あいさつ」については昨年度より2～3ポイント下がっています。御家庭での協力によるところが大きい項目です。宿題については決めた時間や場所で自分から取り組めるようになるといいです。あいさつは相手の心をトントンとノックして開くもの。社会とつながる第一歩です。家庭でも学校でもいつでもどこでも、気持ちの良いあいさつができるようにしたいです。

「楽学フェスタ」は一年間学んだ学習の集大成として位置づけられた行事です。自分で調べたことや学んだことをまとめたり、グループでの協働作業をしたりすることを通して、自分や友達、学び、夢や未来と「つながる力」を伸ばしてきました。当日は、タブレットを使っての発表も多くありました。お子さんの頑張る姿を拍手で褒めていただけたのではないのでしょうか。子供たちは友達の発表を見たり、聞いたりしながら、まとめ方のうまいところや工夫しているところを学んでいたようです。

本校は、外国につながる児童が多く在籍しています。子供たちは、言語の壁を乗り越えたり、生活習慣の違いを認めたりしながら温かい雰囲気の中で交流しています。これからも人とのつながりの中で多様性を尊重し、自他の人権を大切に育てていくよう指導していきます。

本校では、多くの出会いや体験を大切にしています。「本物の文化・芸術との出会い」では、音楽家を招いて鍵盤ハーモニカやリコーダー、箏(こと)、弦楽器、雅楽等を発達段階に応じて観賞したり体験したりします。「人との出会い」では、地域の方やお店の方、その学習の専門的知識が豊かな方等を講師として授業に入らせていただいています。また、人権感覚を育てるために必要な学年に応じて「遵法教室」も行っています。これからも「いじめを見逃さない学校」を目指していきます。その他にも子供たちの学びを支える強力なバックアップ体制として「学校支援サポーター」や「さなレンジャーPEACE」があります。今年度は約700人の保護者や地域の方が学習支援を申し込んでくださいました。校外学習の付き添いや学年菜園や花壇の水やり、図工の刃物を使った制作活動の補助、家庭科のミシン操作補助等、多岐にわたって支援していただいています。来年度もさくら連絡網で募集しますので御協力ください。

保護者アンケートに「学校からの発信をもっと多くしてほしい、子供の様子が伝わらない」という御意見が寄せられました。御意見ありがとうございます。学校HPのブログにて紹介していく頻度を上げて学校の活動や子供たちの様子をお伝えしていきたいと思えます。今後も学校教育活動に御理解・御協力をお願いいたします。

(文責：大石)